

開催趣旨

「副産物利用と自給飼料活用による牛肉生産を目指して」

わが国の牛肉産業は依然として飼料価格の高止まりと牛肉消費・価格の低迷という苦境が続いており、さらに今年は口蹄疫発生という危機に直面しました。このような状況下では、より一層飼料自給率向上を目指した資源循環型牛肉生産の取り組みが重要です。このシンポジウムでは、飼料自給率向上と資源循環の発想に基づく牛肉生産を行うためには何をどのように解決してゆくべきか、その展開にむけて自給飼料や地域副産物飼料などの活用の展望と実態、バイオセキュリティ戦略などについて講演から考え、広く生産者、消費者、流通業界および研究機関の関係者が一堂に会して意見交換し、資源循環型牛肉生産の意義浸透を図りたいと考えました。今年も多くの方々にご参加いただき、副産物や自給飼料の活用による牛肉生産について理解を深める機会となることを期待しております。

プログラム

13:00- 開会挨拶

13:10 - 13:40 基調講演 「わが国の牛肉生産における副産物・自給飼料活用の展望」

今井 明夫 氏(今井農業技術士事務所)

13:45 - 14:05 地域話題提供1 「十勝和牛の実態と自給飼料の活用」

西部 博寿 氏(十勝農業協同組合連合会)

14:05 - 14:25 地域話題提供2 「ワイン製造副産物を利用したあか牛生産」

小原 秀樹(池田町あか牛振興協議会)

14:30 - 15:00 特別話題提供 「畜産を守るためのバイオセキュリティ戦略の可能性」

瀬野 豊彦(畜産コンサルタント)

(10分 休憩)

15:10 - 15:50 パネルディスカッション

パネラー：今井 明夫、西部 博寿、小原 秀樹、瀬野 豊彦、網野拓男、食肉業界代表

司会：左 久

15:50 - 15:55 閉会挨拶

15:55 - 16:35 北海道肉牛研究会総会・研究会賞授与式

18:00 - 20:00 意見交換会・e-びーふ試食会(希望者のみ)

帯広 東急イン プルミエの間

現地見学会： 11月11日(木) 9:00 - 12:00(希望者のみ)

北海道バイオエタノール(株)十勝清水工場